

ステレオタイプ

○固定観念・ステレオタイプとは

私たちの身近な会話の中に、また日頃から聞き慣れている言葉の中に、さまざまな「思い込み」や「固定観念」「偏見」が存在し、自分以外の特定の人たちに対して、一面的に決めつけたイメージを思い描きがちになります。このような一面的なイメージのことを「ステレオタイプ」といいます。

「血液型がA型の人は性格が几帳面だ」とか、「動物好きな人に悪い人はいない」なども、ステレオタイプの一例です。しかし、実際には「血液型はA型だが細かなことにはこだわらない」人はたくさんいますし、人の内面的な善悪が動物好きかどうかだけで決まるものではありません。しかし、こうした当たり前のことが、人は他人をステレオタイプに当てはめることによって見えなくなり、一面的なイメージだけを強調することになってしまいます。

また、大安や仏滅などの「六曜」やお葬式の時の「清め塩」も十分な根拠があるものではありません。「男のくせに・・・」「関西人は・・・」「外国人だから・・・」など、ひとくくりにした考え方も思い込みや偏見につながります。



○ステレオタイプによる偏見・差別

他人に対するステレオタイプのものの見方にその人の価値観や優劣の考え方が加わると、ある個人がある一面を持っているという理由だけで、何ら合理的な理由もなく排除しようとして、避けたりするという偏見や差別を引き起こすことがあります。ステレオタイプは、容易に差別に結びつくのです。

他の人と適切な人間関係を築いていくためには、はじめから何かを決めつけるのではなく、一人ひとりが持つ多様な「個性」=その人自身を見つけだし、それを認めていくことが大切です。